

# 新城市水田営農推進協議会協議会(愛知県新城市)

## 1 産地の概要

- ＜対象地域＞ 新城市  
 ＜対象品目＞ 水稻  
 ＜産地の現状・課題＞

令和3年から新品种「ミネアサヒSBL」を導入し、いもち病に対する無防除栽培による農薬使用量の削減といった環境負荷軽減に係る取組を進めている。高齢化の進展にともない、担い手農家への農地集約が進む一方、水田の畦畔比率が高く、非生産部門であるその除草作業は、担い手農家の経営効率を低下させている。そのため、作業時間の短縮や軽労化が必要であるが、さらに農作業事故防止の観点から、作業の安全性にも配慮する必要がある。

## 2 検討体制

- ＜新城市水田営農推進協議会構成員と役割＞
- ・構成員の名称 (役割)
  - ・愛知東農業協同組合 (事務局、協議会運営)
  - ・新城市役所 (情報発信、協議会運営)
  - ・愛知県農業総合試験場 (技術支援)
  - ・愛知県新城設楽農林水産事務所 (検証、技術支援、協議会運営)



実演会の様子



実演機(Y社製)



実演機(U社製)

## 3 グリーンな栽培体系

＜環境にやさしい栽培技術＞

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
CO <sub>2</sub> 、N <sub>2</sub> Oの削減	雑草管理	＜取り入れる技術＞ —
		＜見込まれる効果＞ —

＜省力化に資する技術＞

作業段階	新たに取り入れる技術
雑草管理	＜取り入れる技術＞ リモコン式草刈機
	＜見込まれる効果＞ 作業時間の削減(単位面積当たり半減) 農作業の安全性確保及び疲労軽減

## 4 活動内容及び今後の展開

＜活動内容＞

- 協議会として検討会を開催し、実演会の企画やグリーンな栽培マニュアル、産地戦略の作成、情報発信方法について協議した
- 協議会構成員に担い手農家を加えて実演会を開催し、リモコン式草刈機の作業性について検証した

＜今後の展開＞

地域に既に普及している刈払機や自走式草刈機等に加え、新たにリモコン式草刈機を導入することで、担い手農家の軽労化や農作業安全に資する。導入に際しては、作業受委託やシェアリングなど、稼働率が向上するように配慮する。